



# T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



## W E E K L Y R E P O R T

風に向かって、風とともに  
東京六本木ロータリー・クラブ会長  
2013年3月18日発行 第348号  
2012-2013年度 No. 28



### 本日のプログラム

平成25年3月18日  
卓話『ワインの楽しみ方』  
レストラン「マクシヴァン」代表ソムリエ  
佐藤 陽一 様

#### プロフィール

1962年大阪生まれ。  
料理人を目指し渡仏。ワインの楽しさに取りつかれ、帰国後はソムリエの道を選ぶ。

2005年 全日本最優秀ソムリエ  
2007年 世界最優秀ソムリエコンクール日本代表  
2012年 アジア最優秀ソムリエコンクール日本代表 東京マイスター受賞

### クラブからのお知らせ [3月11日]

#### ● 松島会長挨拶

今日は、東日本大震災の2周年の日に当たります。犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈りしたいと思います(黙祷)。  
今なお行方不明の方が多く、災害の凄まじさを物語っています。また、残された方多くは、仮住まい生活を余儀なくされ、また生活や仕事などの原状復帰には遠く、心身ともに追いつめられてきています。被災地は、依然悪戦苦闘中です。

震災発生後、国中の人が支援の手を差し伸べたことは、日本人の絆の強さとして海外から称賛の声があがりました。2年の時が過ぎましたが、善意の支援活動は廃れていません。しかし、毎年、チャリティーをやると約束しながら停止してしまったり、結果報告もないまま、集まった募金とともに行方をくらましてしまったボランティアも知っています。  
勿論、これらの心ない人は一部ですが、われわれの気持ちの中にも、時の経過とともに、一種の緩みが生じてきている面は否定できないように思います。ロータリアンにとっても、今後とも息長く支援を続けていけるのかどうか問われています。



そのような思いから、今晚のチャリティー・コンサートを企画しました。  
皆さま、このイベントを縁に、被災地の方に寄せる思いを新たにいただければ幸いです。



東京六本木ロータリー・クラブ

T O K Y O  
R O P P O N G I  
R O T A R Y C L U B

2013年3月11日  
春季チャリティー夜間例会

3月11日、春季チャリティー夜間例会が、グランドハイアット東京2Fコリアンダーで、ゲストを含め約60名で行われました。

今回は、東日本大震災の復興チャリティーを趣旨とした夜間例会です。

グランドハイアット東京社長の大橋会員の多大なる御協力によって、参加費の3分の1をチャリティーにできました。

松島会長の開会点鐘と黙祷と挨拶から始まりました。挨拶では、東日本大震災の被害状況、遅い復興状況と被災者の大変さを話されていました。続いては乾杯の後、グランドハイアット東京の大変美味しいお酒と食事を楽しみました。



そして、チャリティー・コンサートで天満敦子様の素晴らしいストラディヴァリウスの演奏とユーモアに富んだトークは時間を忘れさせるほどでした。アンコールでの「見上げてごらん夜の星を」「ふるさと」は、皆さん感動致しました。

最後は、「手に手つないで」で心の輪を確認し、強い絆で結ばれたようでした。ご参加の皆様、大盛会となりましたこと、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(親睦活動委員長 松木 隆央)







## 「ロータリー世界平和フォーラム広島」 開催まであと2ヶ月



2013.5.17-18  
ロータリー  
世界平和フォーラム広島

広島での「ロータリー世界平和フォーラム」の開催まであと2ヶ月となりました。ベルリン・ホノルル・広島という3つの平和フォーラム開催地は、第二次世界大戦で大きな被害を受けた都市であることから、田中作次RI会長によって選ばれました。この3都市は、今では平和推進を象徴する都市となっています。ここでは、ベルリンとホノルルで開催されたロータリー世界平和フォーラムの概要を報告します。

### ■ベルリンで平和フォーラムが開催 (RIニュース:2012年12月13日より)

11月30日から3日間、ドイツのベルリンでロータリー世界平和フォーラムが開催されました。25年前に開かれたロータリーのミュンヘン国際大会以来となる、ドイツでの大規模なイベントに、ロータリアンや地域のリーダーのほか、インターアクター、青少年交換学生、RYLA参加者など、各国から1,800名の参加者が集まりました。

「国境のない平和」をテーマとしたベルリンでの平和フォーラムで、「人は誰でも、暴力や迫害、不平等や不条理に苦しむことなく、平和に暮らす権利をもっています」という一文で始まる平和宣言<sup>(※1)</sup>が発表されました。

「私は、戦争直後の日本で育った最初の世代ですから、平和と豊かな生活のありがたみを身にしみて感じます」と田中会長。「平和に向けた活動は、生涯の活動です。ロータリアンは、世界中の34,000のクラブを通じて、きれいな水を提供し、保健と教育を改善し、最も厳しい環境に置かれた人々に希望をもたらしながら平和構築に貢献しています」

会場では、シニア・リーダーのロータリー体験談が集められたエッセイ集、『My Rotarian Moment — 心に残るロータリーの体験』が、田中会長の署名入りで販売されました。売り上げはロータリー財団に寄付されます。

「平和構築は、財団の使命を形づくる重要な要素」であると述べるウィルフリッド・ウィルキンソン財団管理委員長は、ポリオ撲滅のために文化、宗教、言語の壁を越えて協力するロータリーの結束を強調し、敵対する者同士がポリオ撲滅という共通の目的のために協力し、予防接種の間だけ停戦する「静寂の日」を実現することができる、と述べました。

会場では、100を超える平和プロジェクトの展示が行われ、その中から選ばれた2つのプロジェクトに田中会長から賞が贈られました。

(※1ベルリンの平和宣言全文:

[http://www.rotary.org/RIdocuments/ja\\_pdf/peace\\_declaration\\_berlin\\_ja.pdf](http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/peace_declaration_berlin_ja.pdf))

### ■平和フォーラムでアウンサンスーチーさんに平和賞を授与 (RIニュース:2013年2月5日より)

1月25～27日、ホノルル(米国ハワイ州)で開催されたロータリー世界平和フォーラムにて、ミャンマーの民主化運動指導者で、ノーベル平和賞受賞者のアウンサンスーチー氏が基調講演を行い、同氏に対し、平和で非暴力的な方法で民主主義を実現した長年の功績を称え、「ハワイ平和賞」が授与されました。



基調講演の中で同氏は、絶対的な平和の達成は困難ではあるが、それを目指して進まなければならないとし、人権を保証するには民主的な体制が必要であると訴えました。「私たちが欲する平和とは、恒久的な平和です。若い人たちに平和な国家構築の仕事を担ってもらえるよう支援する必要があります。前に進むためには、若い人たちの力が不可欠です」と述べた同氏は、平和構築における若者の役割の重要性にも触れました。

田中作次RI会長が今年度企画した3回の平和フォーラムの2回目となったホノルル平和フォーラムには、1,800人以上のロータリアン、ロータリー学友、ロータリーの平和プログラムの支援者が集いました。

このフォーラムは、「平和にいたる緑の道」をテーマとし、平和推進における環境保全の重要性に焦点を当て、平和宣言<sup>(※2)</sup>も採択されました。

田中会長はフォーラムで次のように述べました。「ロータリーは教育、人道奉仕、若者とのつながりを通じて平和を構築しています。末永く続く平和を実現するためには、新世代の若者、その次の世代の若者に参加してもらい、ロータリーの平和構築活動を未来へ継承していけるよう彼らを支援する必要があります。健全な環境があってこそ、私たちは自分の可能性を最大限に生かすことができます。基本的ニーズが満たされれば、紛争の原因も少なくなります。紛争に資源を費やしていない人々や国は、その分みんなの利益になることに対して資源を利用できます」

(※2ホノルルの平和宣言全文:

[http://www.rotary.org/RIdocuments/ja\\_pdf/peace\\_declaration\\_honolulu\\_ja.pdf](http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/peace_declaration_honolulu_ja.pdf))



例会日》月曜日 12:30 - 13:30 例会場》グランドハイアット東京 (TEL : 03-4333-1234)

## ■ ニコニコBOX情報

御手洗 美智子さん(東京広尾RC)  
いつもお世話になり、ありがとう存じます。

鈴木 尚子さん(郡山アーバンRC)  
東日本大震災復興支援チャリティー・コンサートを、  
私共東北郡山にも！本日被災地への祈りを皆様と  
共に共有出来ました事に感謝です。

小林 由拓さん(郡山アーバンRC)  
ご支援ありがとうございます。

宇佐見 千嘉さん  
3月11日の記念の日に、天満敦子様のヴァイオリン  
演奏をつつしんで聞かせていただきます。

松島 正之さん  
東日本震災の犠牲になられた方に、心からご冥福  
をお祈り致します。

柏原 玲子さん  
大震災から、2年目、この教訓を忘れずにいたいと  
思います。天満さんのコンサート楽しみにしてい  
ます。

石上 和敬さん  
東日本大震災で犠牲になられたすべての方々に  
思いを馳せつつ…。

片岡 雅敦さん  
東日本大震災から2年が経ちました。被災地の復  
興と日本の平和を心よりお祈り申し上げます。

荻田 吉夫さん  
これからも3・11を忘れないようにしたいものです。  
経済が上向きに転じつつあるのは大きな希望です。

杉本 潤さん  
親睦活動委員会の皆様、今宵も有難うございます。

今村 道子さん  
天満様のヴァイオリンの音色を聞きながら、1日も  
早い復興を祈ります。

山本 良樹さん  
2年前を忘れることはできません。

渡邊 滋さん  
「望郷のバラード」おおいに期待しております。

3月11日 合 計 60,000円  
累 計 1,354,500円

## 『今週の言葉』

「僕の前に道はない 僕の後ろに道はできる」  
高村光太郎「道程」より

人が歩いた道を行くのはたやすい。しかし、その道は、推理小  
説を結末から読むようなものだ。つりこまれるようなドキド  
キ感や打ち震えるようなワクワク感はない。人生は短い。振り返  
ったときに、のっぺらぼうの埋め立て地しかないのでは寂しい。  
「汝の道を歩め。他をして語るに任せよ」(ダンテ)、胸を張って  
決断しよう。(松島正之会長)

## ■ 今後のプログラム

平成25年3月25日

卓話『匠の手』

禎心会病院脳疾患研究所 所長  
上山 博康 様

## プロフィール

昭和48年	北海道大学卒
同年	脳神経外科に入局
昭和55年	秋田脳血管研究所
昭和60年	北海道大学脳神経外科 助手
昭和61年	北海道大学脳神経外科 講師
平成4年	旭川赤十字病院 脳神経外科部長
平成10年	旭川赤十字病院 脳卒中センター長
平成23年4月	禎心会病院脳疾患研究所 所長

## 3月11日の例会出席率(暫定)

・会員の例会出席数(出席率) 27名(57%)  
・ゲスト・ビジターの参加者数 29名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



森の町内会  
間伐に寄与する紙  
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元  
気にするための間伐と間伐材の有効活用  
に役立ちます

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 松島 正之 幹事 関口 明博

広報・週報 安井 悦子  
委員長広報・週報 渡辺 美智子  
副委員長

事務局》〒106-0031東京都港区西麻布3-2-13 コートアネックス六本木503号室 TEL:03-6721-1555 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/